



北茨城 → 日立

6月29日、「国民平和大行進」が北茨城市から日立市までをつなぎました。写真は磯原駅前、激励のペナントを贈る豊田稔市長と村田洋文市議会議員。



中川教授(右)

水産物を丸ごと測定 新しい放射能測定器を開発

市内の水産業は、港湾の復旧工事が始まっていますが、放射能汚染のなか復興は容易ではありません。この打開のため、市では5月



に水産業復興委員会を発足させています。副委員長の東大大学院・中川聡特任教授らがたちあげた「茨城漁業環境研究会」では、新しい放射能測定器を開発し、このほど公開されました。試料を切り刻まずに測定



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2
毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

ダム湖底の測定 ねばり強く県を動かす

北茨城市議団では、さる3月5日、県に対してダム湖底の放射性物質測定の実望書を出しました。さらに6月5日、大内久美子県議や他市の議員といっしょに再度の申し入れをおこないました。いずれも本紙で報じています。

その後、竜神ダムを抱える常陸太田市からの要望も受け、ようやく7月5日、県が環境省に申し入れをおこないました。塩川つや衆院議員事務所によれば、福島はじめ、群馬、栃木でも、県からの要請を受け、すでに放射能測定がすすめられています。北茨城市議団としても、ひきつづき注視していきます。

こうした機器の開発が産官学の協同ですすめられていることもあり、報道機関の関心も高く、さっそく担当課には問い合わせもきています。市では今後、農産物の測定にも利用していきたいとしています。

検出限界が10ベクレルで、ベルトコンベア式で一検体で最速10秒。ゲルマニウム半導体による測定機とあわせて精度を高め、数か月後の実用化をめざしています。さらに漁船にはGPSを搭載し、水揚げされた海域と放射能測定値との関係を特定することで、漁の安全をPRしていく計画です。

することができません。水揚げされた魚や加工品を丸ごと測ることで、漁業者にも消費者にも安全・安心を届けようというものです。

志位委員長を迎え演説会

福田明衆院予定候補も力強く決意表明

つくば市
2000人

7月1日、つくば市の国際会議場で、志位和夫委員長を迎えての日本共産党演説会が開かれました。参加者は2千人を超え、第2会場まで満席になりました。志位氏は財界・米国中心の「2つの害悪」を断ち切れれば、どういう展望が開けるかを縦横に語りました。

また、県医師会の齋藤浩会長とJA茨城県中央会の秋山豊専務理事が来賓とあいさつに立ち(裏面詳報)、北茨城市の豊田稔市長と東海村の村上達也村長から寄せられたメッセージも紹介されました。

福田明衆院茨城5区予定候補(北茨城市議)も決意表明。「私は26才で北茨城市議に当選して以来、8期29年間、全力をつくしてきました。昨年の東日本大震災や福島原発事故に対する政府の対応を見たときに、本当に住民のいのちと暮らしを守ろうと思えば、国の政治の大本を変



志位和夫委員長



福田明予定候補

えなければ守れないと痛感し、立候補を決意しました。震災からの復旧・復興、東海第2原発の廃炉は最大の課題です。派遣労働などの不安定雇用をなくし、若者が安心して働き、希望がもてる社会をつくるために全力をつくします」と力強くあいさつしました。

この演説会に北茨城市から参加した女性は「福田さんの国政に挑戦する決意に感動した」と語っています。